別紙３

障害児養育年金請求書

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①個人番号 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ②障害児の個人番号 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③　ふりがな氏名 |  | 男女 | ④生年月日 | 年 | 月 | 日 | ⑤障害児との関係 |  |
|  |
| ⑥現住所 |  |
| ⑦　ふりがな障害児氏名 |  | 男女 | ⑧生年月日 | 年 | 月 | 日 |
|  |
| ⑨障害児の現住所 |  |
| 受けた予防接種 | ⑩種類 |  | ⑪実施年月日 | 年 | 月 | 日 |
| ⑫実施者 |  | ⑬実施場所 |  |
| ⑭居住地 |  |
| ⑮当該疾病につき初めて診療を受けた年月日 | 年 | 月 | 日 | ⑯初めて診療を受けた医療機関の名称及び所在地 |  |
| ⑰経過及び障害の現況 |  |
| ⑱障害該当年月日 | 年 | 月 | 日 |  |
| ⑲施設収容の有無及び施設名 | 有・無 | 期間 | 年 | 月から | 年 | 月まで |
| 施設名 |  |
| ⑳特別児童扶養手当又は障害児福祉手当の受給の有無 | 特別児童扶養手当 | 有 | 〔 | 年 | 月から | 〕 | ・ | 無 |
| 級 |
| 月額 | 円 |
| 障害児福祉手当 | 有 | 〔 | 年 | 月から | 〕 | ・ | 無 |
| 級 |
| 月額 | 円 |
| 上記のとおり、予防接種を受けたことによる障害について、障害児養育年金の支給を受けたく、必要書類を添えて請求します。 |
| 令和 | 年 | 月 | 日 |  |
| 請求者氏名　 |  |
| 市町村長　殿 |
| ㉑同意欄 | 私は、個人番号を通じて自身の税情報を提供することに同意します。 |
| 申請者署名　 |  | 印 |
| 本人署名　 |  | 印 |
| （※自署できない者は代筆者が署名し、代筆者氏名及び医療を受けた者との続柄を記載） |
| （Ａ４） |

（注　意）

１． ①の欄は、請求者の個人番号を、②の欄には、障害児の個人番号を記入してください。

２． ③～④及び⑥の欄は、請求者の氏名、性別、生年月日及び現住所を記入してください。

３． ⑤の欄は、請求者と障害児との関係を記入してください。

４． ⑦～⑨の欄は、障害児の氏名、性別、生年月日及び現住所を記入してください。

５． ⑩～⑭の欄は、障害の原因となった予防接種について、次のように記入してください。

(1) 「⑩種類」は、ジフテリア等の対象疾病の種類及び定期、定期外又は臨時の別を「ジフテリア、定期（第1期第1回）」、「○○○、臨時」というように記入してください。

(2) 「⑪実施年月日」は、当該予防接種を受けた年月日を記入してください。

(3) 「⑫実施者」は、実施に当たった市区町村長（受けた当時の居住地の市区町村長になります）等の名称を記入してください。市区町村長等以外で受けたときは、（ ）の中にその医療機関の名称を記入してください。

(4) 「⑬実施場所」は、当該予防接種を受けた場所を具体的に記入してください。

(5) 「⑭居住地」は、当該予防接種を受けた当時の居住地を記入してください。

６． ⑮及び⑯の欄は、障害の原因となった疾病につき、初めて医師の診療を受けた年月日並びにその医療機関の名称及び所在地を記入してください。

７． ⑰の欄は、障害の状態となるまでの経過及び障害の現況を具体的に記入してください。

８． ⑱の欄は、障害の状態となった年月日を記入してください。

９． ⑲の欄は、重症心身障害児施設等の施設に入所している場合には「有」を、施設に入所していない場合には「無」を「○」でかこんでください。また、入所している場合には、その期間及び施設名を記入してください。

10． ⑳の欄は、特別児童扶養手当等の支給に関する法律の規定による特別児童扶養手当又は障害児福祉手当の受給の有無を記入してください。

 また、支給を受けている場合は、その額、等級及び支給を受けた期間を記入してください。

11． ㉑個人番号を利用して市町村長から患者又はその保護者の地方税関係情報の提供を受ける場合は、事前に必ず当該患者又はその保護者から同意書をとるようにしてください。